

令和6年度 多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて

## 包括的な相談支援・ コミュニティソーシャルワーク実践講座

本講座は、「地域を基盤としたソーシャルワーク」（Community based Social Work）の実践をテーマに、「暮らしをまもる」個別支援機能と「つながりをつくる」地域支援機能を連携させた地域福祉の理念と方法論について学び、地域福祉を推進する専門職の育成を目的に開催します。

- 1 研修日程
- (1) 8月19日（月）
  - (2) 9月24日（火）
  - (3) 10月21日（月）
  - (4) 11月18日（月）
  - (5) 12月16日（月）

※時間 いずれも午後1時30分～4時30分



- 2 研修会場 大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室
- 3 受講対象 大阪市内24区社会福祉協議会、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、福祉関係事業所等の福祉専門職
- 4 内 容 裏面プログラムを参照ください
- 5 講師等 【講 師】武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科  
教授 松端 克文  
【実践報告】（社福）西宮市社会福祉協議会  
共生のまちづくり推進課 包括的支援体制推進係 小藪 真彦
- 6 定 員 36人（応募者多数の場合は抽選する）
- 7 受講料 7,500円
- 8 申込方法 「受講申込書」をFAXまたはホームページから申込み
- 9 申込締切 7月24日（水）午後5時まで
- 10 受講決定 8月上旬に「受講決定通知書」を所属長あてに送付します。
- 11 申込先 大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当  
〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20  
TEL06-4392-8201 FAX06-4392-8272

《昨年度アンケートより》

- ・地域支援や福祉のあり方などが奥深く理解出来たかと思う
- ・事例検討をすると色々な目線で話し合いができて色々、知らない事を学ぶことができ、おもしろいと感じる場面も多かった ・多職種で視点も違うため、とても勉強になった
- ・普段、かかわることのない他区の職員とワークをすることで資源や対応事例など広く知ることができた

令和6年度 多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて  
包括的な相談支援・

コミュニティソーシャルワーク実践講座 プログラム

講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 松端 克文

<p>[1日目] 8月19日 (月) 午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域づくりを視野に入れた個別支援を学ぶ</p> <p>個人を地域で支える援助と、個人を支える地域をつくる援助を一体的に推進する「地域を基盤としたソーシャルワーク」の理念を学ぶとともに、「一つの事例が地域を変える」という実践を学びます。</p>
<p>[2日目] 9月24日 (火) 午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>総合相談を地域福祉の戦略として位置づける</p> <p>総合相談（＝包括的相談支援）の基本的枠組みや「総合相談」の体制について学ぶとともに、事例紹介からコミュニティソーシャルワークの具体的な展開方法を学びます。</p>
<p>[3日目] 10月21日 (月) 午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>潜在的ニーズの把握から始める、ともに支えあう地域づくり</p> <p>既存の制度やサービスで生活課題を解決できない、または自分自身の生活課題を表面化できない、住民が地域課題を課題として認識できないなど、地域の中では潜在化している課題やニーズが存在します。こういった課題について、いち早く支援者として気づくには、地域へどのようなアプローチが必要なのか、潜在的ニーズについて把握できる仕組みについて、事例を通して実践的に考えます。</p> <p>【実践報告】（社福）西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり推進課 包括的支援体制推進係 小藪 真彦</p>
<p>[4日目] 11月18日 (月) 午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域住民の主体形成の支援策</p> <p>地域にある生活課題を住民が意識し、自分たちの地域の中での支援活動を推進するきっかけとなる「しかけ」について、実践事例の取り組みからその手法を学びます。それぞれの取り組みの目標について、「タスクゴール」「プロセスゴール」「リレーションシップゴール」を意識しながら、課題解決のヒントを考えます。</p>
<p>[5日目] 12月16日 (月) 午後1時30分 ～4時30分</p>	<p>地域福祉の理念とこれからの地域福祉実践を考える</p> <p>地域福祉とは、何を大切にし、どのような実践が求められるのか。職種や領域を問わず、あらゆる社会福祉従事者に求められている「地域福祉の実践」について、その理念と実践法の概論を学びます。</p>

令和6年度「包括的な相談支援・コミュニティソーシャルワーク実践講座」受講申込書

送付先：大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当

FAX：06-4392-8272 申込締切日：7月24日（水）午後5時まで

法人名	
勤務先名	
所属長	

下記の者の受講を推薦し、申し込みます。

ふりがな				年齢	
名前					
職種	右の番号	①相談員、支援員 ②介護支援専門員 ③介護職員 ④保育士 ⑤保健師、看護師 ⑥事務職、管理職 ⑦その他( )	役職	(記入例:主任、チーフ、なし など)	
	福祉業務経験年数	年	ヶ月	*経験年数基準日	
現(役)職での経験年数	年	ヶ月	令和6年8月1日		
事業所 (勤務先)	勤務先種別	右の番号	①高齢者福祉関係 ②障がい児・者福祉関係 ③保育・児童福祉関係 ④生活保護施設 ⑤その他( )		
	所在地 (郵便の届く住所をお書きください)	〒			
	電話番号		FAX番号		
本研修の受講の目的					
本研修で学びたいこと					
相談事例で住民や地域と連携し支援した経験があれば記入してください					
備考欄	*車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などを必要とする方は、その旨ご記入ください。				

※大阪市社会福祉研修・情報センターでの個人情報の取り扱いについて

当センター主催の研修・講座に受講申し込みされる際には、名前、住所その他の個人情報を提供していただきますが、これらの情報は、名簿の作成、資料の送付等、研修事業の運営のためのみ使用し、他の目的で使用したり、他者へ提供することはありません。